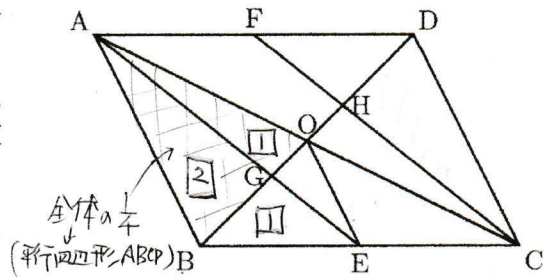


右の図のような平行四辺形 ABCD がある。対角線 AC と BD の交点を O とする。

また辺 BC 上に点 E, 辺 AD 上に点 F をとり, AE, CF と対角線 BD との交点をそれぞれ G, H とする。次の (1), (2) に答えなさい。



(1) $OG=OH$ のとき, $\triangle ABG \cong \triangle CDH$ を証明しなさい。

(2) $AB \parallel OE$ のとき, 次の①, ②に答えなさい。

① $\triangle AGO$ と $\triangle BGE$ の面積比を比べたとき, 下のア~ウのうち正しいものを選び, 記号で答えなさい。

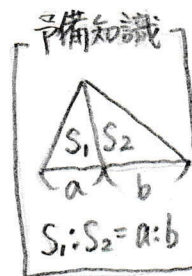
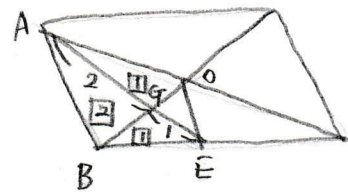
- ア $\triangle AGO$ の面積は, $\triangle BGE$ の面積より大きい。
- イ $\triangle AGO$ の面積は, $\triangle BGE$ の面積より小さい。
- ウ $\triangle AGO$ の面積は, $\triangle BGE$ の面積と等しい。

② AG の長さが GE の長さの 2 倍であるとき, 平行四辺形 ABCD の面積は $\triangle AGO$ の面積の何倍になるか答えなさい。

[H30 徳島県中 3 第一回基礎学力テスト]

(1) $\triangle ABG$ と $\triangle CDH$ において
 仮定判
 $AB=CD \dots \textcircled{1}$
 $AB \parallel DC$ より錯角は等しいので
 $\angle ABG = \angle CDH \dots \textcircled{2}$
 対角線 $BD=DO$
 $OG=OH$ 判
 $BG=DH \dots \textcircled{3}$
 ①, ②, ③ 判 2 組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので $\triangle ABG \cong \triangle CDH$

② 中は中点連結定理・相似を利用OK.
 中は相似は知らないので使えません.



$AG:GE=2:1$ 判
 $\triangle ABG : \triangle BGE = \textcircled{2} : \textcircled{1}$
 $\triangle BGE = \triangle AGO = \textcircled{1}$ と判るため
 $\triangle ABO = \textcircled{3}$ と判る
 これは平行四辺形の $\frac{1}{4}$ にあたる
 ため平行四辺形 ABCD は $\textcircled{4}$
 $\textcircled{2} \div \textcircled{1} = 12$ (倍)

(2) $AB \parallel OE$ があるから
 ① 詳細 $AB \parallel OE$ より $\triangle ABO = \triangle ABE$ で
 この2つの三角形に共通 $\triangle ABGE$
 引くと $\triangle AGO$ と $\triangle BGE$ と判る
 つまり $\triangle AGO = \triangle ABO - \triangle ABG$
 $\triangle BGE = \triangle ABE - \triangle ABG$
 $\triangle ABO = \triangle ABE$ なので $\triangle AGO = \triangle BGE$

12倍